

③ 結果および今後の展望

木津川上流の環境基準点である家野橋でのモニタリングデータを勘案し、名張川における発生源の予測や起因となる可能性などを検討している。平成30年度は流入河川の実態把握や流域特性なども考慮した栄養塩類の水質濃度や流量の基礎データの取得を行い、流入河川の汚濁負荷も無視できないことが示唆された。これら探索的調査のデータ蓄積に努め、地域の水環境保全や水質改善対策の検討を進める。

2. 情報発信、啓発等

(1) 学会・シンポジウム発表

- ・第52回日本水環境学会年会（2018年3月、北海道）
和田 他 「水質自動データの活用方策の検討」
- ・第40回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム（2018年7月、京都）
野口・和田・西村 他 「木津川上流における河川水質特性に関する調査研究」
- ・第17回世界湖沼会議（2018年10月、茨城県）
和田・津野 “Cooperation for Study on Refractory Organic Matter in the Lake Biwa-Yodo River Watershed”

(2) 講演、社会活動等

- ・受賞記念セミナー、琵琶湖環境科学研究センター 招待講演（2018年8月、滋賀）
「難分解性有機物の研究をどのように活かせるかー難分解性有機物に関する琵琶湖・淀川流域の総合的な研究の推進ー」
- ・第55回日本水処理生物学会 水道生物研究集会 招待講演（2018年11月、福島）
「琵琶湖と淀川水系における水環境の動向を探る」
- ・環境省環境調査研修所 講義（2018年8月）
国・自治体職員を対象とした水質分析研修においてデータ活用・解析等の意義
- ・第11回国際水協会 IWA-WWC, 東京都水道局サイドイベント出演（2018年9月）
「世界の水問題と日本の水事情」のトークセッション
- ・国際協力機構（日本工営, JICA）ベトナム国流域水環境管理能力向上プロジェクト研修講義（2018年10月）「琵琶湖流域の水環境管理の改善に向けて」
- ・国際協力機構（クリアウォーター大阪, JICA）マレーシア河川における水質浄化オペレーション及び管理研修講義（2018年10月）「河川浄化システムの理論と実際」「琵琶湖・淀川流域における水利用・水質浄化の紹介」
- ・国際協力機構（国際湖沼委員会 ILEC, JICA）水資源の持続的な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理研修講義（2018年11月）「琵琶湖・淀川流域における水利用、水質浄化技術の紹介」「大阪における下水道の概要と河川・大阪湾における水質保全について」
- ・共同研究：平成29年度下水道技術研究開発(GAIA プロジェクト)成果発表（2018年3月、東京）尾崎・和田「雨天時に市街地から流出するノンポイント汚濁負荷量の予測モデル開発」



「非特定源汚濁を対象とした検討会」



「第17回世界湖沼会議 いばらき霞ヶ浦2018」